

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン（第四次福岡県環境総合基本計画）」（※1）では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「豊かな環境が支える県民幸福度日本一の福岡県～経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴きし、今後の施策の参考とさせていただきます。

【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

（環境部 環境政策課）

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、すべての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=385 選択は1つのみ)

知らない	297名	77.1%
知っている	88名	22.9%

無回答 0.0% (0名)

<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=385 複数回答可 回答件数=1,580)

身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	184名	48.4%
ごみが正しく管理・処理されていること	170名	44.7%
水が汚染されていないこと	137名	36.1%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	130名	34.2%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	123名	32.4%
住まいの周りの静かさ	106名	27.9%
空気や空が汚染されていないこと	94名	24.7%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	89名	23.4%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	84名	22.1%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	82名	21.6%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	81名	21.3%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	64名	16.8%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	63名	16.6%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	53名	13.9%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	51名	13.4%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	35名	9.2%
環境について満足しているところはない	24名	6.3%
その他	10名	2.6%

無回答 0名 0.0%

〔その他(抜粋)〕

- ・ 環境活動ボランティアにかかわっています。特に環境問題を考えていただける講座を開催し、私自身もリサイクル石けんを活用しています。この活動は、他の地域では消えつつありますが、現在も続けられていることに満足しています。
- ・ インターネットなどの媒体を通じて、個人でできる環境に配慮した活動のヒントが受け取れる。
- ・ 自然災害が少ないこと。
- ・ エコマークやグリーンマーク、再生紙マークなどがついたものを目にすることが増え、選ぶようになった。
- ・ SDGsという言葉が徐々に浸透してきました。しかし、まだまだ関心は薄いと思います。私たち一人一人が自覚して小さなことへの貢献をしていきたいと思っています。
- ・ いずれの項目も10年前、数10年前と比較すれば大幅に改善されているが、どこまで満足できるか断定できない。
- ・ 夜間にごみ収集をしてくれるので、混雑も起きにくく朝から慌てなくて良いので助かること。
- ・ 自動車の電動化が進められているが、電気自動車を製造する際の環境負荷が考慮されていない。環境負荷に対する配慮は、産業構造という観点からもっと学ぶ必要があると考えます。
- ・ 再生エネルギーが太陽光のみ先行していることに疑問。山林を破壊して太陽光を設置するのは言語道断。最近では風が強いので風力発電を試してみたいと思うが、自分で制作するためのワークショップがあればありがたい。自分のごみの出し方が正しいのか知りたい。また分別したごみ

の行く末を見学してみたい。

- ・ 環境問題より経済を優先する考えは日本の産業社会では根深いと思う。本当に温暖化の結果と思われる超異常気象が頻発しているのに、まだ本気に正面切って環境問題に取り組む企業、住民は少ないとおもいます。
- ・ 川や山や海に遊びに行くが、福岡県は比較的きれいな方だと思う。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=385 複数回答可 回答件数=1,622)

太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	189名	49.7%
ごみが正しく管理・処理されていること	158名	41.6%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	143名	37.6%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	129名	33.9%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	124名	32.6%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	116名	30.5%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	113名	29.7%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	112名	29.5%
水が汚染されていないこと	88名	23.2%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	74名	19.5%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	68名	17.9%
住まいの周りの静かさ	57名	15.0%
空気や空が汚染されていないこと	54名	14.2%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	52名	13.7%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	42名	11.1%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	41名	10.8%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	35名	9.2%
環境についてよくなったと感じるところはない	17名	4.5%
その他	10名	2.6%

無回答 0名 0.0%

〔その他(抜粋)〕

- ・ 地元の五月松原は松くい虫でかなりのダメージがあったのですが、この地に住んで40年近くなり松原の再生プロジェクトが成功し、毎回通るたびに松原がきれいになったと実感しています。これも地域と行政の地道な活動の結果だと、感謝しています。
- ・ 環境の大切さを意識する人が増えたこと。ただし、それが実効性のある取組にはあまりつながっていないと感じます。
- ・ 北九州は高齢化が一層進んでいます。地域でも古紙回収など活動はしていますが、これからどうなるか懸念しています。
- ・ 10年前と比較すれば相対的に悪くなったことは無いように感じる。
- ・ エコのみならず、SDGsの概念が取り入れられたこと。
- ・ 真剣に取り組んでいる人(企業等)もあれば、まったく関係なしとしている人もいるように感じています。

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満と感じるのはどのようなところですか。

(n=385 選択は4つまで 回答件数=998)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	147名	38.7%
空気や空が汚染されていること	134名	35.3%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	94名	24.7%
水が汚染されていること	71名	18.7%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	68名	17.9%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	66名	17.4%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	63名	16.6%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	53名	13.9%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	45名	11.8%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	42名	11.1%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	38名	10.0%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	34名	8.9%
環境について、不安や不満と感ずるところはない	30名	7.9%
その他	27名	7.1%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	25名	6.6%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	23名	6.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	21名	5.5%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	17名	4.5%

無回答 0.0% (0名)

〔その他(抜粋)〕

- ・ 太陽光は、使っていない人に電気料金の中に転嫁されていることや、太陽光だけでは電力は賅えず、不足した場合に電力会社の電力に頼っている都合のいい取扱いになっている点が非常に不満。
- ・ 化学肥料や薬品によって土壌が汚染されていることを残念に感じます。
- ・ 現在の取組は地道な努力の継続でなんとか前進していますが、資源ごみの仕分けなど住民の負担の多いものもあり、企業などがリサイクルを前提にしたものづくりをもっと進めてほしいと思います。
- ・ 海外からの有害物質の飛来とそれによる環境の悪化。
- ・ 都市部と田舎では温度差がある気がします。同じ県でも、自然が当たり前、静かな生活が当たり前な田舎では、全く生活が違うのでそこを大事にしてほしいと感じます。
- ・ 中国からPM2.5が飛来してくることと、地球温暖化の影響からか集中豪雨が多くなり災害が増えたこと。
- ・ 気温がどんどん上がっている。毎年洪水などの被害がある。

- ・ ごみの分別・リサイクルは進んでいますが、リサイクルに要するエネルギーも考慮した循環型社会には、まだ程遠いと感じます。また、ごみのポイ捨ては海洋ごみにもつながるそうですので、マナーの向上が必要と考えます。
- ・ 福岡市は観光客が来ないようなエリアではポイ捨てが多いし、掃除もされていないことが多い。博多駅や観光客が目につく周りだけきれいにされているのはどうかと思う。
- ・ 高齢化が進みやりたくてもできないことが多い。SDGs の開発目標を少しでも達成しようと思っています。
- ・ 大震災後、夜間の無駄な照明など節電が徹底されたが、忘れ去られたようで残念だ。
- ・ 近くの川沿いに草を捨てたり、ごみを燃やしたりする人がいる。伝える側の身元を保護して、そういったことを連絡できる窓口があるとよい。
- ・ 原発が稼働を続け、国が再稼働を進める姿勢を強めていること
- ・ 高レベル放射性廃棄物の処理を全国自治体が受け入れない姿勢であるのに国があの手この手で懐柔を進めていること
- ・ 原子力から自然エネルギーへの移行するための技術開発を進めてほしい
- ・ 電気自動車用のスタンドが増えていないこと。実際には増えているのだろうけど、ガソリン車から電気自動車に買い替えるにはまだ勇気がいると感じる。
- ・ 特に不満や不安があるわけではないが、環境配慮として推進されてきた原発は不安がある。
- ・ 自動車の電動化のように、環境に配慮しているようで、実際には配慮になっていないことが多い。我々は、限られた情報で選択させられている気がしてならない。
- ・ 特に経済活動において、環境破壊、利益優先が見られるように思います。
- ・ 海洋ごみが問題になっているが、田畑や道路、山林等に必ず見られるポイ捨てごみ。田畑の隅に「ごみを捨てるな」の看板を見ると心が痛む。田畑は皆が口にする食糧を生産する場所。基本は、ごみをきちんと捨てることの習慣づけがなされていないことが諸悪の根源だと思う。ごみを捨てたあとのことを考えることができる人間を作ることが何より優先されるべきだと思う。
- ・ 原子力より安くで太陽光でのエネルギー活用してもらいたい。
- ・ 爆音で走行する車やバイクを多くみかける。就寝時は特に迷惑。
- ・ コロナ禍を理由に、エアコンを使用している割にエアコン効果がなく、更に電気代を使うという不効率的なことをしている。この状況を改善しようという動きがないことが残念。
- ・ 原発が身近に存在していること。
- ・ 環境関連の技術や産業が年々進んできていることは、何となくわかるのですが、実際どのくらいの規模で利用されて、どのくらい効果があるのか、よく分かっていない状況です。
- ・ 太陽光発電のためのソーラーパネルが各所にあって環境や景観を破壊している。
- ・ 環境に配慮するという目的で、再生可能エネルギーの利用を増やすことは良いことですが、過疎地の森を切り拓いて太陽光発電パネルを設置するのは本末転倒で馬鹿げています。送電効率の面からも、太陽光発電は都市部で地産地消的に用いるべきです。
- ・ ごみやトイレについてですが、行政の方はコンビニに任せているように思われます。

<5> 福岡県の環境について、これまでの設問以外の意見（抜粋）

<脱炭素社会>

- ・ 太陽光や風力など自然資源の活用はできていないと思う。マンション型の自然エネルギー活用の制度や家電などがあればもっと住民の意識が向くと思う。
- ・ 公共施設等はエアコンの温度等が厳しく管理されている一方で、スーパーや百貨店等の公共以外の場所はエアコンの効きすぎや、照明の無駄使いが激しい。公共以外でももっと意識を上げるべき。

<循環型社会>

- ・ 福岡県は、県全体としては、道路などへのごみの散乱や山間地や林のところに産業廃棄物の廃棄が多いです。改善してほしいし、責任のある企業に対してしっかりと指導してほしい。
- ・ ごみとして捨てられるものの中にまだまだ分別してリサイクルできる素材がたくさんあると思うので取り組んだらいいと思います。例えばペットボトル以外のプラスチックなど。
- ・ 指定のごみ袋が自治体毎に違って、住んでいる地域によって金額が違ったり、分別できる種類が違うことに不満があります。例えば、遠賀郡だとペットボトル回収のごみ袋は販売されていません。また、段ボールをリサイクルに出せる回収場所が減って困っています。
- ・ 飲食店舗及び食物販を扱う店舗並びに各家庭から排出される生ごみを堆肥に変えることができるような活動を広げてほしい。
- ・ 海水の汚染汚濁について、近くに深江海岸がありますが、漂着物等の清掃を毎年地域総出で行っております。地球の半分以上を占める海洋の汚染については、人間に還ってくることではないでしょうか。
- ・ 日本でものの無駄が発生し続けているのはどうしたものか。食料、資源、エネルギーなど資源がない国の日本でリサイクルに取り組むことは必要最低条件ではないか。
- ・ この10年で生活ごみの再生、リサイクルはかなり進んできているが、未だ使い捨てのプラスチック容器やトレイ等の無駄が多く見受けられる。メーカーや店舗での包装をもっと削減できるアイデアが欲しい。また海洋プラスチックや道路脇のごみ廃棄など現代になっても解決がなされていない問題が多々ある。もっと県民が啓発され積極的な取組がなされるよう、使用者だけでなく製造販売側への関心、指導に取り組んでほしい。
- ・ 福岡市は、大都市だから故に、ごみの分別がされていなくても回収されたり、街が汚かったり、目を向ければ向けるほど厳しい現実をつきつけられます。例えばペットボトルのフタやタグを1人1人が外すということを少し気にするだけでも大きく違う。少し気をつけることが大切だと思います。
- ・ ごみを出す側に、処分しているところを知ってもらうことが大事だと思います。
- ・ 市民センターやスーパーマーケットの入り口などに、食品トレイやペットボトルなどの回収ボックスが設置されているが、洗わずに出していたり、対象ではない物を入れたりしているのをよく見かけます。福岡県だよりやTV番組などで、食品トレイが回収されてどのようにリサイクルされるかわかりやすく知らせてほしい。
- ・ ごみ問題はまだまだ改善が必要だと思う。ごみの分別も充分でない地域があると思うし、山や川、海にせっきく出掛けても必ずごみがある。ポイ捨てる大人はなかなか減らないと思うが、子供の頃からその辺りをしっかり教育していけば、10年後はポイ捨てる人が減らないだろうか。
- ・ 個人的には、歩きたばこだけでなく、車からのたばこのポイ捨てや灰を落とす行為を取り締まってほしい。
- ・ 自治体によってごみの分別が細かく厳しい所と大雑把な所の差が激しい。例えば福岡市は再生できるプラスチックも燃えないごみ袋に入れて捨てて良いが北九州はプラスチック専用のごみ袋に入れて捨てなければならない。
- ・ 県内のごみ分別ルールを統一できないですか。
- ・ ごみの分別リサイクルを詳細化してほしい。

- ・ もっとリサイクル推進の活動が増えれば良いと思う。(とくにプラスチック製品の再利用など)

<自然共生社会>

- ・ 都会と自然が調和している福岡は本当に素晴らしいと思います。アクロス福岡の緑化など非常に良いと思います。しかしながらインバウンドが進むことによって起こる破壊も心配しています。
- ・ 他の県に比べると、福岡県は自然が沢山残っていて、目に余るような環境破壊などはあまりないように感じます。
- ・ 他県で生活をしたことはないですが、旅行などで他県に行くと、福岡県はとても住みやすい県だと、とても感じます。
- ・ 海や山などの自然環境がたくさんあるのに、公共交通機関でのアクセスが不便だったり、人があまり訪れないところは荒廃しているようにも感じる。例えば九州自然歩道をもっと多くの人が親しめるように整備してほしい。
- ・ 以前は田舎とされていた場所がベッドタウンとして住宅地建設が増え自然が少なくなりました。せっかくの自然も残したい風景も SNS 拡散により写真投稿を目的とした観光客が増えマナー違反なども見かけるようになりました。
- ・ 福岡県は、都市開発が進んでいる県ではあるものの、自然環境や住環境は、美しく保たれていると思います。水がきれいで、水道水をそのまま飲んでも美味しいと感じる程です。空気もきれいです。自然保護のための取組も積極的に行っており、県民として自慢できます。これからも住み良い県であり続けられるため、一県民としてもできることから取り組んでいきます。
- ・ 太陽光発電の設備のために、森林が伐採されている光景をよく目にするようになりました。環境への負荷を考えると本末転倒だと思います。規制する法律があるのかも知れませんが、県でもっと監視を強化してほしいと思います。
- ・ メガソーラー開発において、安全性や森林伐採の観点から許可するかどうかの審査を徹底し、許可後も適切な監視、指導をしていただきたい。
- ・ 近くに舞鶴公園がありますが、正直まだ公園としての整備が進んでいないと思います。都心の中で緑と触れ合える場所として是非きれいに整備を進めてほしいです。
- ・ 無駄な砂防ダム（川を全て水路にしたこと）による海岸侵食や栄養不足、水生生物の減少。

<健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 福岡県は他県に比べても環境はいいと思いますが、筑豊地区はまだ石炭の後始末が終わっていないと思う。環境破壊になる前に調査が必要と考える
- ・ 工場などが近いので、空気がものすごく汚い。バルコがすす汚れのように真っ黒になります。
- ・ 公共交通機関が発達している中心地でも車の量が多いから排気ガスが気になる。東京はディーゼル規制があるが、福岡県でもそういった規制で強化するべきだと思う。
- ・ 土地柄でどうしようもないことかとは思いますが、PM2.5 や黄砂で空が霞んで見えることが多いので不安になります。
- ・ 東京に比べ福岡市内は、歩きたばこ、公共の場での喫煙が多いと感じます。喫煙は個人の自由ですが、他人の健康を害する権利はないはず。また、ポイ捨ての多さ。健康教育・規制強化・罰則規定や周知徹底が必要と感じます。
- ・ 京都の街並みが圧倒的にきれいでした。明確な理由はわかりませんが、恐らく、看板や電柱の差かと推測します。
- ・ プラごみが問題となり、レジ袋の有料化や脱プラ化が進んでいますが、そもそも、人間が自分たちの利便性や利益のために作ったもの。禁止と言う前に正しく使い、正しく捨てればいいだけの話です。プラスチックが悪ではなく、それを海や川などに捨てる人が悪です。論点がずれている気がします。
- ・ 大気汚染物質 PM2.5 は毎日天気予報と一緒に飛散量が発表されているが、福岡県は発生国の近くなので常態化させないような対応策を意見集約することが今からの環境美化にも繋がると思います。
- ・ 歩きたばこや車の中でたばこを吸うのをよく見かける。吸った後、ポイ捨てるのも、非常識

で、自分のことしか考えていない。やはり、県が環境取組していても、個々がしっかり環境のこと考えなければならないと思う。歩きたばこは、周りの人のことを考えてほしいし、車でたばこを吸う人は、窓を開けてしている。それが、自分の車中を汚したくないからと思っているなら腹立たしい。周りの迷惑や環境のことは考えないのかと思う。たばこに関しては、罰則を強くしてほしい。

- ・ 近所にあった湧き水がどんどん姿を消している。中国から PM2.5 も飛んできているようだ。現代社会でおいしい水と空気は一番の宝。何としても守り抜いてほしい。
- ・ 基本は静かな環境を保たれているが、夜間にバイクや車の騒音がひどい時がたまにあること。
- ・ 車やバイクの騒音がひどく、騒音に関する規制を作してほしいです。
- ・ 直線道路の近くに住んでいるからか、暴走族がよく爆音を立てて暴走しており、それ以外でも、改造車などが走っていることが多いです。
- ・ EU 諸国では除草剤(グリホサート)が禁止されているが、この発がん性の高い危険な農薬が日本では認可されていることもあり日常的に使われている。せめて、学校の運動場や公園など公共の場所では除草剤(グリホサート)を禁止してほしい。
- ・ 近年、ドローンによるネオニコチノイド系農薬の散布が計画されているが、ネオニコチノイドも EU 諸国で禁止されておりミツバチの大量死などを招くと報告されている。ドローンでの農薬散布では積載性の関係で通常の農薬より濃縮しているので、その影響が心配である。
- ・ 水質汚染の一因として、合成洗剤の環境負荷が大きいと聞くと、洗剤は合成のものを使っている家庭が多い。石けんを薦めるような広告をあまり見たことがない。
- ・ 空き家の増加は地域の環境、安全に負の影響があります。担当部署は別にあると思いますが連携して改善に取り組んでいただきたい。
- ・ 最近、近所の森林が売却されてマンションが建設されているのを見かけることが多くなった。おそらく、森林の管理者の高齢化などによって十分な管理が行き届かないことが原因だと思う。さらに、車の排気ガスで黒いガスが出ているのを見ると、空気汚染が気になってしまう。
- ・ 黄砂や PM2.5 が心配。ぜんそく、気管支炎、アトピーなど深刻な問題につながっている。
- ・ 騒音に対して、県警を含めた県の取組(迷惑防止の条例化など)に期待する。
- ・ 路上喫煙者が多いと感じます。特に子どもと行くような場所では厳しく取り締まって、公園の遊歩道にある灰皿は撤去していただきたいです。
- ・ 過去に比較して改善が行われているのは事実であろうが、都市圏では悪臭が絶えなかったり、水道水源の水質に問題が指摘されたりすることもある。また海外からの有害物質の飛来など問題はまだまだ多く残っているとわざるを得ない。

<国際環境協力>

- ・ 海外からだとは思いますが大気汚染がひどすぎる。アレルギーがあるので外の空気が辛い時が多い。東京よりもひどい。そこがとても残念です。
- ・ 隣国からの大気汚染が非常に気になります。ここ何年も外に洗濯物干せていません。
- ・ 越境汚染がひどい。しかし、これは、福岡県の取組だけでどうこうできない。国を通して改善を求めてほしい。

<経済・社会のグリーン化>

- ・ 環境問題に関する対策は、費用対効果が定量的に示されていないものが多いと感じています。例えば、コピー用紙でも、普通紙よりも高価な再生紙を県が利用したとして、どのくらいの環境に対する良い効果が表れているのかが分かりません。環境問題に対する対策は、まずは定量性を示す指標を選択し、費用対効果が大きいものから実行されるべきです。税金を使っている以上、その定量的な評価を知りたいです。
- ・ 家庭で 10kW の太陽光発電をしているが、よく止められている。発電しているのに使われないので、この電力を有効活用できないのかと疑問に思う。
- ・ 北九州市は特に環境問題に力を入れています。その取組や実績があまり周知されていないと感じる。

- ・ 環境保全と経済成長との両立は、理想ではあるが、できるのか疑問に思う。環境保全を第一に置いて、経済成長は考えた方がよいと思う。
- ・ 県として、太陽光ばかりに頼らないエネルギー生産に対する補助金を出しても良いのではないかと感じる。
- ・ ごみについては、シンガポールのようにポイ捨てに対する罰則を設けても良いように思う。ポイ捨てごみやペットのフンなどで汚いし、モラルもない。
- ・ リチウムバッテリーの廃棄が簡単にできる商品開発の推奨や、回収ボックスを県が誘導してほしい。貴重な資源であるし、間違った廃棄での事故も起きている。今やどんな製品にも充電式電池が使われている割に、処分方法の説明を聞ける機会はあまりに少ない。
- ・ せっかく九州大学と共同で自動運転水素バスが開発されているので、せめて、公共の博多～博多港間だけでも無料ピストン輸送できる全国初の取組を試みたらいかがでしょうか。世界から注目されることで、PRと共に技術革新にもつながると期待できる。
- ・ ベンチャーとして活気があるとされている企業や産業の中に、非効率なエネルギーの使い方をしているものもあり、それが活気があって良いとされる代表で話題に出てくるのは、良くない影響があると思う。

<持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 環境問題は生産している企業との連携がまだまだ足りないと思っています。自然豊かな福岡ですが、さらに企業と連携した新しい取組もやってほしいと思います。企業が独自で取り組んでアピールしているのはわかりますが、住民の生活と連携した取組などにもチャレンジしてほしいとおもいます
- ・ 福岡市と周辺では県のサポートが受けやすい気がしますが、少し離れるとそうでないように感じます。県内どこでも県としてサポートが受けやすくしてくれることが良いのではと思います。
- ・ 過疎にも優しい環境ならば、人はそこに集まると感じながら生活しています。
- ・ 目に見えてわかることが少なく、また普段実感することも多くはない環境問題だからこそ、分かりやすく噛み砕いて、子どもたちに小さい頃から環境について考える仕組みを確立してほしいです。
- ・ 環境を整えたり、より良くする取組をもっと県民が理解し実践できるように、広報はもちろんですが、実践的な参加型イベントなどを数多く行うことが望ましいと考えます。
- ・ 「エコポイント」や「環境貢献ポイント」などもっと頻度を高め、分かりやすいやり方で計画してほしい。
- ・ 家庭や地域での取組も大切だと思います。
- ・ 環境に配慮した洗剤(台所石けん、洗濯石けん、シャンプー、リンス等)を薦める。
- ・ 添加物を減らす取組。
- ・ 環境に配慮している個人や企業を金銭的にも応援してほしいです。

<その他>

- ・ 福岡県は人口が増えていて、宅地開発も増えているので環境破壊が進んでいると思います。熱海の土砂崩れの件で、ニュースであのように山を開発している都道府県の分布図を見たら福岡が上位2番目ぐらいにありました。全国的に空き家も増えている中で、これ以上の宅地開発をせずつまなくできないか検討してほしいです。
- ・ 今回モニターの委嘱を受け、改めて福岡県の地図を確認しました。自分が住んでいる市や町と他の地域と大きな違いがあると認識し、それぞれの特性を活かした施策の難しさを思います。
- ・ 箱物的な建物はもう必要ないのではないかと。現状の維持管理カリノバージョンがもっと必要に感じる。
- ・ ごく最近になって、SDGsの気運が高まり環境意識が少しずつ浸透しているようだが、SDGsが採択されて既に6年たっている。一人一人が、環境を汚す存在であることを自覚し、自分が出したCO2くらいは相殺するつもりで木々を植えたり、朝顔カーテンを作ったり、ノーネクタイの生活をしたり、早急に意識を変える啓蒙活動が必要だと思います。

- ・ 農地が激減していることを危惧しています。
- ・ 環境問題は SDGs の取組の中でも重要で、県民の意識を高めるために小中高校で教育をしていただきたい。若い人から意識を高めるのが良いと思います。更なる広告、広報、実現が必要だと思う。
- ・ 環境政策にお金をかけても結果が見えにくいので、予算もあまり使われていないように感じます。治水のために、田だけではなく、個別の家などでも一定の割合を保水しておくような施設なども税金で補助していただきたいです。また、太陽光パネルなど農地に併用して設置する事業の補助など、お金をかけて補助や助成をしてほしいと思います。
- ・ 日々の生活における環境への取組目標を1つか2つに絞って推進してもらいたいです。
- ・ コロナ禍における換気とエアコンの適正使用に対する正しい情報を発信してほしいです。従来と同じ温度設定をして、窓もドアも全開にして使用するため、エアコン効果がなく、個人の扇風機を一人一人が使うという状況が発生しています。コロナ禍での適正なエネルギー消費における換気とエアコン使用について、正しく情報を速やかに発信してほしいです。
- ・ 天神や地下鉄の開発など、環境を含めた未来の在り方に漠然とした不安を感じています。

<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

<脱炭素社会の推進>

- ・ 「再生可能エネルギーの活用」「省エネルギーの取組」に対する満足度は、昨年度から若干減少しています。カーボンニュートラルの実現に向け、意識がより高くなったことが考えられます。

<循環型社会の推進>

- ・ 「ごみの管理・処理」に対する満足度は、比較的高く推移していますが、昨年度からは若干減少しています。ごみのポイ捨て等への意識の高まりが考えられます。
- ・ 「リサイクル」に対する満足度は、令和2年度以降は増加しています。

<自然共生社会の推進>

- ・ 「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、例年高い水準で推移しています。
- ・ 「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」や「希少種や里山を守る取組」が減少しており、要因としてコロナ禍による活動自粛等の影響が考えられます。

<健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

- ・ 「水の汚染」「空気の汚れ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。
- ・ 「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、近年は減少傾向となっています。

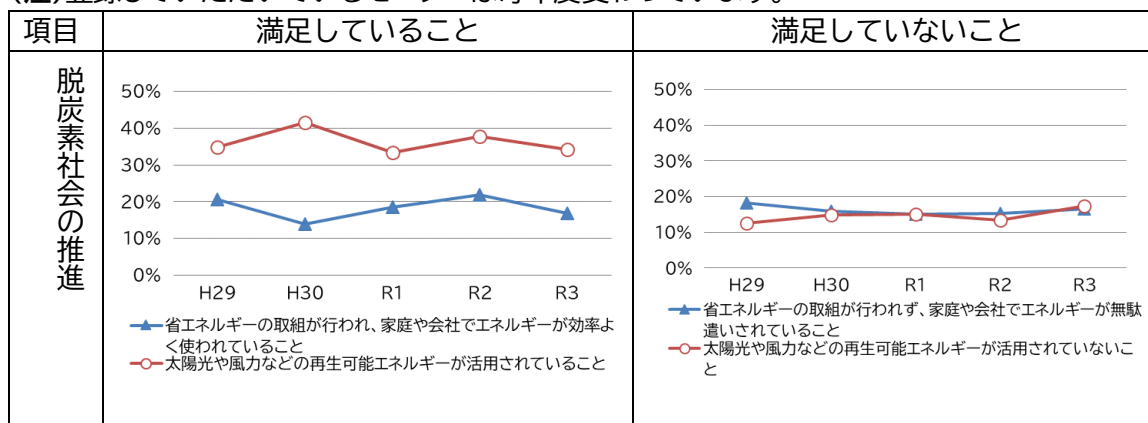
<経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進>

- ・ 「産業での環境に配慮した取組」「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、いずれも近年上昇しており、これらの取組が浸透してきていることが考えられます。

<持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

- ・ 「環境配慮行動」に対する満足度は、横ばいで推移していますが、「地域づくり」に対する満足度は微増しています。
- ・ 一方、満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われていないこと」や「<健康で快適な生活環境>空気や空気が汚染されていないこと」では比較的高く推移しています。
- ・ これらの項目については、今後の環境に関する取組の進め方に活かし、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。



<p>循環型社会の推進</p>	<p> ▲ モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと ○ 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること ■ ごみが正しく管理・処理されていること </p>	<p> ▲ モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること ○ 環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと ■ ごみが正しく管理・処理されていないこと </p>
<p>自然共生社会の推進</p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること </p>	<p> ▲ 豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること ○ 希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと ■ 身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと </p>
<p>健康で快適に暮らせる生活環境の形成</p>	<p> ▲ 空気や空気が汚染されていないこと ○ 水が汚染されていないこと ■ 住まいの周りの静かさ </p>	<p> ▲ 空気や空気が汚染されていること ○ 水が汚染されていること ■ 住まいの周りの静かさが保たれていないこと </p>
<p>経済・社会のグリーン化とグリーンイノベーションの推進</p>	<p> ▲ 様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること ○ 家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること ■ 環境関連の技術や産業が向上・発展していること </p>	<p> ▲ 様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと ○ 家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと ■ 環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと </p>
<p>持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり</p>	<p> ▲ 誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること </p>	<p> ▲ 日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと ○ 地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと </p>

